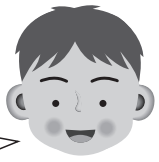
1

さとしさんたちは，次の問題について考えています。

問題　□の中にいろいろな数を入れて，「37 × □」の計算をしましょう。

さとしさんは，まず，□の中に「１」，「２」，「３」を入れて筆算で計算しました。

```
  37        37        37
×  1      ×  2      ×  3
  37        74       111
```

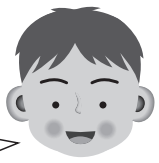


37 × 3 の積は **111** となって，**同じ数字が３つ並(なら)びます。**

さとし

次に，□の中に「４」，「５」，「６」を入れて計算しました。

```
  37        37        37
×  4      ×  5      ×  6
 148       185       222
```



37 × 6 の積は **222** となって，**同じ数字が３つ並びます。**

さとし

(1) さらに，□の中に「７」，「８」，「９」を入れて計算し，積に同じ数字が並(なら)ぶかどうかを調べます。

積に同じ数字が並ぶ計算を，下の **1** から **3** までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。

1

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times\ \boxed{7} \\ \hline \end{array}$$

2

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times\ \boxed{8} \\ \hline \end{array}$$

3

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times\ \boxed{9} \\ \hline \end{array}$$

さとしさんとよし子さんは，37 × □ の計算で，積に同じ数字が並ぶ計算があることに気付きました。そして，なぜ，かける数が 6 のとき，積に同じ数字が並ぶのかを考えました。

37 × 3 = 111

37 × 6 = 222

2 人は，実際に筆算で計算しなくても，**37 × 3 = 111** をもとにすると，37 × 6 の積が 222 になることに気付き，次のように説明しました。

さとしさんの説明

37 × 6 = 37 × (3 × 2)

= (37 × 3) × 2

= 111 × 2

= 222

よし子さんの説明

37 × 6 の 6 は 3 × 2 と考えることができます。

すると，37 × 6 の積は 37 × 3 の 2 倍の大きさになります。

だから，積は 111 の 2 倍の 222 になります。

⑵ 次に，37 × 24 の積が 888 になることを説明します。

2 人の説明のどちらか一方をもとにして，37 × 24 の積が 888 になることを，式や言葉を使って書きましょう。